



青き楓

島高だより
令和7年8月号
(通巻第233号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

全国大会 (インターハイ) 成績報告 選手のみなさんお疲れさまでした！

弓道女子	団体	宮崎奏那 川田妃七 神崎美希 山田伊織 江川和奏 本多未乙	1 回戦
	個人	宮崎奏那	準決勝
弓道男子	個人	川田稔也	準決勝
剣道男子	団体	相原右京 鈴木貫太 若林拓哉 太田瑛崇 林田蒼生 安東愛季	決勝トーナメント 1 回戦
	個人	北山凜桜 時村歩実 川内優 児島和歩 横江明依 松村みなみ 大熊梨生	予選 リーグ
レスリング	個人	川内優	ベスト 16
	個人	児島和歩	2 回戦
	団体	濱崎康太郎 綿谷湊斗 稲本康紀 小川光 林田力丸 廣瀬和道 城田健太	2 回戦
	個人 51kg	濱崎康太郎	1 回戦
	個人 60kg	綿谷湊斗	1 回戦
	個人 65kg	稲本康紀	2 回戦
レスリング	個人 80kg	城田健太	ベスト 16
	個人 92kg	本多洸太	ベスト 16
ソフトテニス女子		石橋麻弥 森下らいか	1 回戦
美術	全国総文祭	牧本ほのか	美術・工芸部門

令和7年度玉竜旗高校剣道大会

剣道女子	団体	北山凜桜 時村歩実 川内優 児島和歩 横江明依 松村みなみ 渡邊さみな	準優勝
	個人	北山凜桜	優秀選手
	個人	時村歩実	優秀選手

9月の主な行事予定



1 日 (月)	振替休日 (9/6)	1 4 日 (日)	進研マーク模試 (3年)
6 日 (土)	体育祭会場設営	1 5 日 (月)	進研マーク模試 (3年)
7 日 (日)	青楓祭《体育祭》	2 2 日 (月)	考查時間割発表 部活動休止 ~10/2
8 日 (月)	振替休日 (9/7)	2 9 日 (月)	中間考查 (2年) ~10/2
9 日 (火)	振替休日 (9/13)	学年末考查 (3年) ~10/2	
1 0 日 (水)	3年進路講演会	3 0 日 (火)	中間考查 (1年) ~10/2
1 2 日 (金)	青楓祭《文化祭》1日目		
1 3 日 (土)	青楓祭《文化祭》2日目		

校長室から

『誰かがちゃんと見ている』 校長 渡崎次郎

大学4年生の冬のアルバイトに、私は小学校の体育館の床張りを選んだ。当時の日当で8千円はなかなか良かった。集まったアルバイト生は各学年から1人ずつの4人で、作業を指示する正社員の方が2人いた。初日の午前中は、屋外にある鉄筋等を体育館内に運び込む作業で、かなりきつかった。午後からは、床下に垂直に打ち込まれた鉄筋に、U字型の金属をある高さまでねじ込む作業を命じられた。床下から生えている鉄筋の数は、縦横およそ50本の2500本。気が遠くなりそうだったが、私は1年生をつかまえて、「勝負！」と叫んだ。「1往復のスピードと正確さで、勝ったら生ビール1杯！」と言うと、「僕、未成年です。」と1年生。「大丈夫。俺は負けん。」と私。「位置について、用意、スタート！」と叫んで勝負開始。中腰の姿勢での作業はとてもきつかったが、負けなかった。最初はなかなか手間取ったが、だんだんコツを覚えてきた。1年生との差も少しずつ大きくなり、折り返す頃には勝利を確信したが、その後全く手を抜かずに私が圧勝した。1分以上遅れてゴールした1年生に、「はい、1杯目、お疲れさん。」と声をかけると、「くそ〜！もう1回お願いします！」と言うのではないか。なかなか見所のある1年生である。その後、1年生もコツを掴み、いい勝負にはなったが、私が負けることはなかったし、何よりとても楽しかった。

15時からの休憩時間に、私は1年生と楽しく話していたが、「先輩、あの人達全然ダメですね。僕らの半分も仕事していませんよ。」と1年生がぼやいた。私も気になってはいたが、「気にすんな。俺ら楽しいやろが。それより、まだ勝負するか？」と聞くと、「はい。次こそは勝ちます。」と1年生。この1年生のおかげで本当に楽しく仕事をする事ができた。

17時になり、アルバイト生が集められ、正社員の方からお話があった。「アルバイト生の皆さん、お疲れ様でした。今日はこれで終わりです。初日で慣れずに大変だったと思いますが、4人ともよく頑張りました。特に2人には、今から特別ボーナスを支給します。」とおっしゃった。私と1年生は心の中でガッツポーズした。が、「その2人。」と正社員の方が指さしたのは、私たちではなかった。「えー！何で〜！」という気持ちが、私の顔にはっきり出ていた。1年生も同じだった。呼ばれた2人も変な感じで前に出た。その2人へ正社員さんからの言葉。「2人へ特別ボーナス5千円を支給します。日当は後日事務所に取りに来てください。明日からもう来なくていいです。」一瞬顔色が変わった2人へ正社員さんからの言葉。「お前達、おじちゃん達が何も見てないと思ってるのか。大人をなめるなよ。一生懸命やってあの程度の仕事しかできんのか。違うな。明らかに前回は手を抜いていた。それに比べてこいつらはどうだ。馬鹿みたいに楽しそうに競争しながら仕事して。こいつら見て、お前達何とも思わなかったのか。俺たちはこいつらに魅力を感じたし、見ていてこっちまで楽しくなったぞ。アルバイト生はこいつら2人で十分だ。以上。」

「馬鹿みたいに」はちょっと失礼だと思ったが、嬉しかった。私たちの仕事をちゃんと見てくれて、ちゃんと評価してくれたことには感謝しかなかった。次の日から、1年生と2人でいろんな話をしながら楽しく仕事した。4人の仕事量を2人でやったので、かなり大変だったが、充実していた。正社員の方ともいろいろな話ができて、最終日には、次のアルバイトの話もいただいたが、都合が合わずに丁重にお断りした。

教員になってから、自分のクラスや学年の生徒には、このときの話をしてきた。伝えたかったことは、「さぼろうと思えばいくらでもさぼれる毎日の掃除を、仲間と一緒にいろんな話をしながら楽しくやることができる人に、俺は人間的魅力を感じる。」とか、「誰も見ていないと思っていても、誰かがちゃんと見ている。」とか、「手を抜いているか、いないかは、誰よりも自分が一番わかっている。」とか。皆さんは、何を感じただろう。

最後に、この話をしながら思ったことが1つある。私はなぜ、1年生だけに勝負を挑んだのだろう。もし、4人で勝負していたらどうなっていただろう。少し考えてみたい。



文理探究科 研修報告

夏休みは文理探究科にとって特別な研修の期間です。
今年も大学訪問など様々なことに取り組みました。
1・2学年の研修を報告します。

<文理探究科2学年>

7/28(月)～29(火)の熊本研修旅行では、理数探究は崇城大学、国際探究は熊本学園大学や熊本県立大学、熊本市国際交流会館に伺いました。理数探究の生徒たちは崇城大学の最新設備や研究環境に触れ、その充実ぶりに驚く場面が多くありました。特に、昆虫の羽を応用したドローン研究や薬学の実験は「難しかったけれど面白い」と好評でした。国際探究の生徒たちは英語での講義や留学生と交流を経て、国際的な視野を広げることができたという声が多くありました。また、探究活動への新たな視点を得ることもでき、探究活動に早速活かしていきたいと意欲をもつきっかけになりました。

理数探究の生徒は7/23(水)、島原市内の小学生を対象に実験教室も行いました。理科の知識を小学生に伝えるように説明しようと試行錯誤するなかで、分かりやすく説明することの難しさを感じた生徒が多くいました。今回の経験を将来の仕事に活かしていきたいという言葉も多く聞かれました。この夏の経験を生かし今後ますます成長する生徒の皆さんの姿が楽しみです!

①7月28日～29日 熊本研修旅行



②7月23日 理数探究 夏休み島高文理探究科実験教室

<文理探究科1学年>

7月23日に南島原市役所近くの有家川下流と夏に家族連れでにぎわうという「鮎帰りの滝」に行き、水質や水生生物の調査を行いました。「本物」を直接観察することの大切さと、自然豊かな地域資源を実際に川や滝に入りながら実感しました。7月28日には長崎総合科学大学の研修に参加し、船舶実験、ロボットのプログラミング、医療機器に触れる、バイオマスエネルギー実験の4班に分かれて、実際の研究の一端を体験しました。自身の興味関心を追求する楽しさと苦勞を学ぶことができたようでした。今後の学習や課題研究にとりまして大変有意義な研修となりました。

①7月23日(火) 南島原市の有家川実習



②7月29日(月) 長崎総合科学大学研修

3年校内学習会 & 2学期の過ごし方

1日6時間15分の自主学習を実践しました。意識してほしいことは「長時間学習への計画・取組」「質問を利用した効率の良い学習」。知ってほしいことは「1問解く、1つのことを理解するために意外と時間がかかること」「朝から夕方まで1日かけても6時間くらいしか学習時間が取れないこと」

進路選択の時が近づいてきました。志願者が多い人気の進学先は入学生を絞るため必ずふるいにかけます。ルールは進学先が決めます。欲しい人材を選抜するために、求める力を持っているかどうかを競争させます。選ばれる受験生になるには、ルールに沿って力をつける必要があります。そのために「時間をその準備のためできるだけ捻出し」「限られた時間を効率よく使い」「計画的に力をつける」これらを実践しなければなりません。ですが、やってみるとなかなか難しい。1日24時間あるはずなのに、時間はなかなか確保できず。1つ1つ課題をクリアするために意外と時間がかかり。計画がうまく進行しているかわからない。やってみないとわからないことがたくさんあります。その一部をこの学習会で体験し、これからの取組に活かしていってほしいです。 ※写真は校内学習会とPTAの激励の様子



第1回オープンスクール

7月25日(金)にオープンスクールを開催しました。中学生とその保護者、あわせて200人以上の参加がありました。本年度は「公開講座」や「新制服お披露目」なども実施し中学生も島原高校に興味を持ってくれたようでした。また、在校生が行った「島高O×クイズ」、「中学校別座談会」では、島高の魅力を中学生にわかりやすく伝えてくれました。アンケートには、「不安や疑問をピンポイントに教えてもらえた」「率直でわかりやすく親しみのある対応だった」など、好評でした。さらに昼休みには、購買部に長蛇の列ができ大盛況でした。午後からは「部活動見学・体験」で盛り上がりしました。暑い中参加して下さった中学生のみなさん、座談会や動画作成、司会などを担当してくれた在校生の皆さん、本当にありがとうございました。

